

平成28年若手グループ夏季行事「危険化学物質と安全管理」報告

化学部会 若手グループ

1. 概要

- 開催日時：平成28年7月2日（土）13時30分～17時
 - 開催場所：葦手第2ビル5階 CD会議室
 - 会費：会員・準会員・関連学協会会員1,000円、その他非会員2,000円、学生無料
 - 参加者：技術士会会員 化学12名、環境1名、金属1名、衛生工学1名、
情報工学1名
関連学協会会員 2名、非会員2名
講師2名
- | | |
|---------|-----|
| 技術士スタッフ | 7名 |
| 合計 | 29名 |

2. プログラム

- 13:30～15:00 公益財団法人総合安全工学研究所 事務部長 中村 順氏
「火薬類の化学分析と探知 ～テロ対策への応用～」
休憩
- 15:50～17:00 東京工業大学イノベーションマネジメント研究科
特任教授・技術士(化学) 中村 昌允氏
「岐路にきた日本の安全管理 ～どこまで安全を求めるか～」
- 17:30～ 懇親会

3. 費用

<収入>

参加費 1,000円×25 + 2,000円×2

 合計 29,000円

<支出> 本例会に伴う支出は無し

4. 特記事項

- ・前半の中村順先生の講演では、火薬類の化学分析についての講演が行われた。日本企業は、技術はあるが、火薬類の機器分析開発については他国から遅れをとっている、という指摘が印象的であった。
- ・後半の中村昌允先生の講演では、記憶に新しい化学プラントの事故調査解析から始まり、新しいリスクアセスメントの考え方、そして現在の日本企業が抱えている技術伝承の問題点など、安全管理に関する包括的な内容のものであった。
- ・お二人の講師は、過去にあるプラント事故の調査委員として一緒に仕事をした経緯があるとのこと。「安全」という共通テーマで一貫した講演となった。
- ・質疑応答も活発に行われ、講師と参加者の間で有意義なディスカッションができた。

以上